

# 個人の豊かさに関わる課題と解決策の提言

—日本の人口動態と資本シフトの情勢までを見つめて—

氏 名 難波 夏文

指導教員 任 章

## 要旨

現代の日本と日本人にあっては、個人的な豊かさ、将来的な豊かさ、先人たちが築き得た豊かさの根源がこの先、消滅してしまう時代に差し掛かっているかもしれない。今や、そのように暗く考える日本人は少なくないだろう。

およそ1995年～2015年の、「空白の20年」にわたる、経済の停滞がもたらした日本のこの先の未来像は、多くの分野に関し、既に専門家らによって予測されている。今の日本は、まさに「暗雲」たれこめる状況である。

そこで本研究では、これまで指摘されてきた様々な問題点の中でも特に重要な、日本の「人口減少問題」を手始めに議論を開始する。そして、本邦における人口動態と資本シフトの情勢を考えながら、「生産性」や「労働力」、「賃金」、さらには生産性向上のカギとなる「IoTや人工知能(AI)」といった分野を広く展望することにより、日本人の将来的な豊かさを維持する方法を考察、検討した。その上で、豊かさに対する指標を「日本における豊かさを表現する貸借対照表(『幸せのためのB/S』)」と見定める事で、現状の日本のおかれている局面を、「資産」と「資本」とに分けることができた。

そして、「資本」における「負債」と「純資産」の関係性において、それらの関係を維持し、あるいは自己資本比率を高めることこそ、日本人にとっての幸せ実現の源になると認識した。他方で、「負債」の比率が高まることは、日本の「消滅」あるいは「属国化」を意味することになりかねない。現状打開策として、危機的な状況から脱却するためには「知識・知財の収斂」が必要であり、そのために日本国民一丸となった知識集積の新しいプログラムを構想する必要がある。そのようなプロセスを経て、諸問題の解消につながられることを見通し、検討し、本論文の提言へ結びつけた。

【キーワード】 人口減少 生産性の向上 社会保障 幸せのための貸借対照表